

かわにし

議会だより

第167号

2026

10.15



ぼくもわたしも
金メダル

美郷幼稚園運動会 P18に関連記事

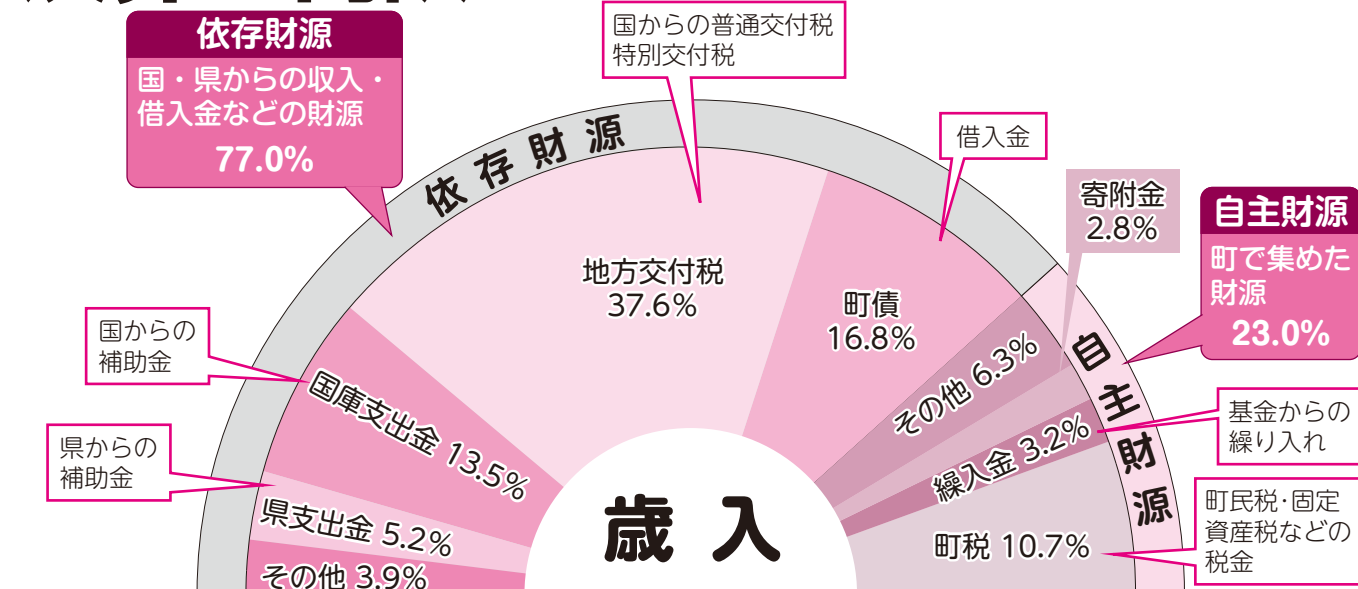


川西町議会HP
QRコード

令和7年度決算 町債残高増加 …	2
町長に問う 4人が一般質問 …	12
特集 なるほど議会ウォッチング③ …	19
意見交換会 3会場で開催 ……	20
あれからどうなった(追跡) …	23

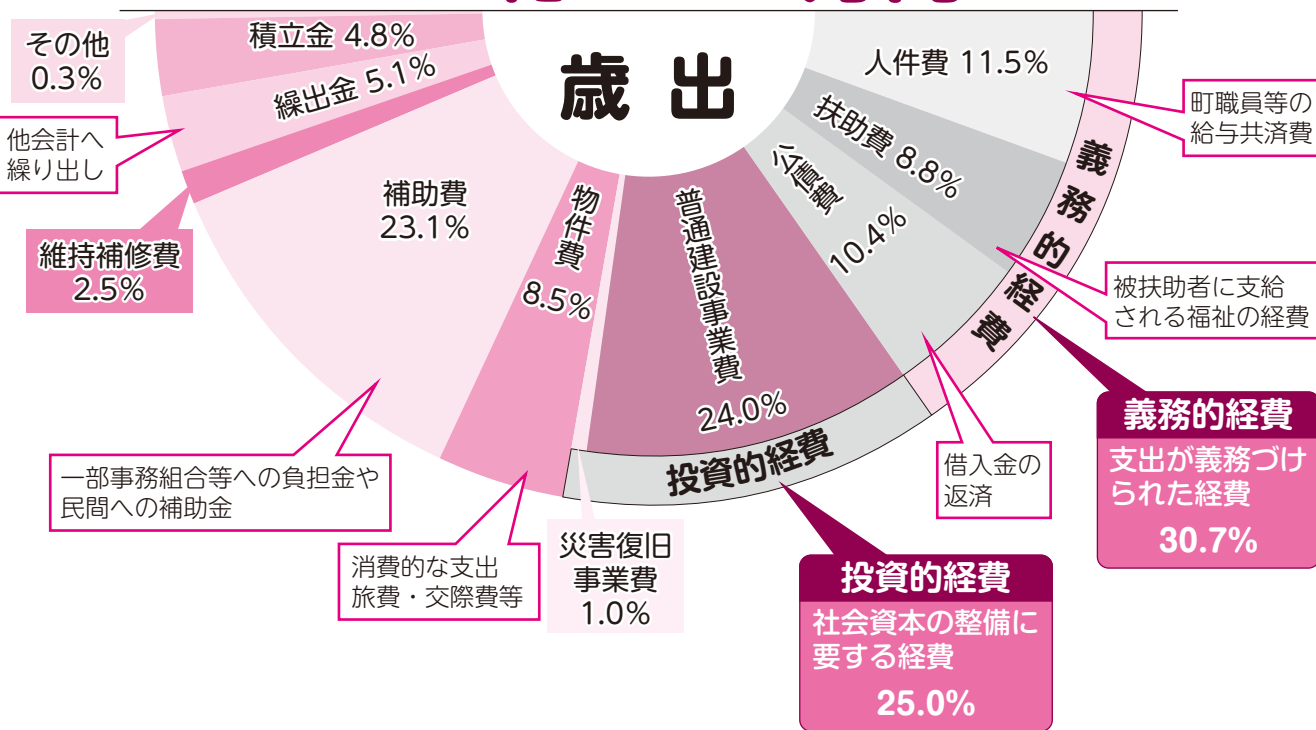
投資的事業により町債残高増加

決算の内訳



一般 会計

154億3740万円
149億8264万円



令和7年度主な事業

- ①町政施行70周年記念事業
- ②第6次川西町総合計画策定
- ③3町(西川町、大石田町、川西町)連携推進事業
- ④川西まちなかテラス建設工事
- ⑤KAWANISHI GREEN FESTIVAL 2025
- ⑥保育料無償化
- ⑦川西中学校長寿命化改良工事
- ⑧川西町立小学校適正配置計画策定

一般会計は黒字

一般会計の歳入総額は154億3740万8千円、歳出総額は149億8264万4千円、歳入歳出差引は4億5476万円となり、翌年度に繰り越す財源1987万8千円を差し引いた実質収支は4億3489万円となった。令和7年度

の実質単年度収支は9585万3千円、財政調整基金の積立金2億39万3千円を加え、取り崩し額1億925万6千円を差し引いた実質単年度収支は5億2417万2千円の黒字となった。

地方交付税は増額

最大の財源である地方交付税は57億9603万5千円で、前年比5・4パーセントの増となった。

借入金残高は増加

中学校施設整備事業債、町有施設整備事業債等により町債残高が大幅に増加したが、財政健全化法に基づく財政指標は国の財政指標(5ページ参照)をクリアしており健全と判断した。

適正な財政運営を

大型プロジェクトの継続や公共施設の更新改修が相次ぎ、さらに自然災害が多発しており臨時的な財政支出が必要となるため、ある程度余裕を持った財政運営が必要である。一層の行財政改革に努め、適正な財政運営を望む。

将来の財政負担を考慮、健全化をはかる

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月2日から16日までの15日間の会期で開催された。

第1日目に、人事案3件に同意、令和7年度一般会計等健全化判断比率等報告4件の後、令和8年度一般会計補正予算の専決処分審議採決、工事請負契約の締結採決、各会計補正予算6件を一括上程し予算特別委員会に付託した。また請願1件を常任委員会に付託した。

監査委員による決算審査の意見書報告があり、これを受け決算特別委員会を設置した。

また、令和7年度各会計決算認定7件を一括上程し、

第3日目に決算特別委員会に付託した。

第2日目に、4人の議員が一般質問を行い、中心市街地活性化、大雨被害、避難所環境、文化財保護などについて質問した。

第1日目を以降、特別委員会、常任委員会、予算・決算特別委員会分科会を開催し、議案を審査した。

最終日に、付託した補正予算、決算認定を原案通り可決、追加提案された一般会計補正予算などを可決し閉会した。

今定例会の傍聴者はいなかった。

効果的・効率的な事業推進と 新たな財源の確保を

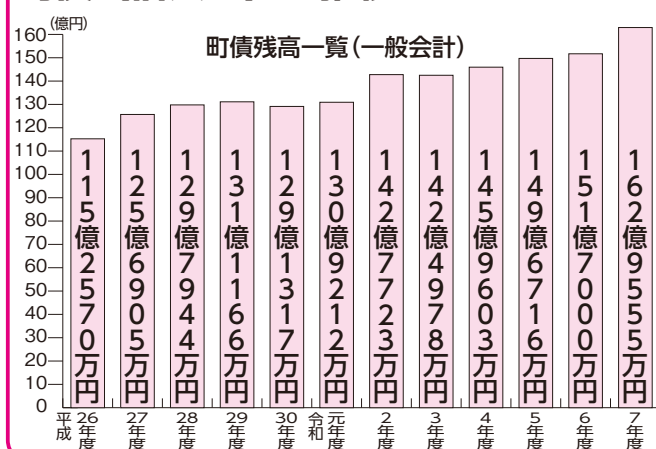
監査
意見

一般会計
実質交債費比率は0・7ポイント改善、将来負担比率は12・1ポイント改善、財政力指数は県内では低位にあり財政基盤は脆弱、経常収支比率は1・8ポイント下回り、財政の硬直化はやや改善。人口減少による税収減、公共施設等の老朽化対策等、災害対応および社会保障関係経費の増大等による将来の歳入減少や歳出増加に的確に対応するため、これまで以上に効果的かつ効率的な事業の推進に努め、新たな財源の確保や基金の積み増しを図る必要がある。

財政調整基金は前年度末比2億39万円増の9億3636万円、町債管理基金は3522万円増の2億8992万円となり、いずれも過去最高額となった。

ここが知りたい

町債（借入金）の推移



基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	標準財政規模に対する財調基金の割合
令和2年度	4億524万円	7748万円	6.1%
令和3年度	6億97万円	1億8163万円	8.7%
令和4年度	5億982万円	1億1544万円	7.6%
令和5年度	5億9445万円	1億6742万円	8.9%
令和6年度	7億3597万円	2億5470万円	10.9%
令和7年度	9億3636万円	2億8992万円	13.1%

財政指標 令和7年度川西町一般会計等健全化判断比率

	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る 資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合
川西町	—	—	11.9%	125.4%	—
国の指標	早期健全の基準 14.00%	19.00%	25.00%	350.00%	20.00%
	財政再建の基準 20.00%	30.00%	35.00%	—	—

※標準財政規模 標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和7年度の本町標準財政規模は71億8361万円。

総括質疑
財政健全化は、高橋 輝行議員が18%超え（借金するのに国の許可必要）がR13年度にも想定されておりその取り組みは。政企課長 R7年度2億円ほど繰上償還。高橋 輝行議員 採択受けた水道施設耐震化事業が休止。国・県からの信用に係る問題では。地域整備課長 国道287号のバイパス工事により中断した。高橋 輝行議員 事務遂行上「事務決裁規程」がある。その内容は。副町長までの決裁は町長が対応している。

決算
審議



使い方しだい、多目的に活用できるホール＝まちなかテラス「まちりあ」



雨漏りも解消、安心してスポーツに＝川西中体育館

すべての町民が幸せに
笑顔で暮らせるまちづくりを進める

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審査した。ここで
は監査意見、総括質疑、各分科会での質疑を要約して報告する。

令和7年度各会計決算の認定状況

会計別	歳入	歳出	認定の内容
一般会計	154億3740万円	149億8264万円	全員賛成で認定
国民健康保険事業特別会計	16億9530万円	16億1178万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計	20億6638万円	20億765万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	2億3844万円	2億1887万円	全員賛成で認定

水道事業会計	収益的※1	4億5574万円	4億4375万円	全員賛成で認定
	資本的※2	1億3137万円	2億5209万円	

※1 収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出

※2 不足する1億2072万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

下水道事業会計	4億1927万円	3億5131万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業会計	7750万円	6352万円	全員賛成で認定

町税収入が増加

問 町税の収納率が上がってきているが、どのような理由か。

計課長 昨年は米価の高騰があり農業者の収入が増加し、収納面でも、滞納繰越などの収納率が向上した。

意見 税の平等性の面からみても、滞納がないように、今後も収納率の向上に努めるように。

問 若者の町内への移住定住を支援する目的のライフプラン支援事業の実績はどうか。

政課長推 婚姻に伴って、新生活を経済的に支援する結婚新生活支援事業補助金の申請はなかった。年齢や所得などの制限があり応募者がなかった。今後の移住定住につながるよう

条件整備を整えるべき。また、山形ハッピーサポーターセンターなどの仲人的サービスも周知を図り結婚につながるよう進めるべき。

問 放課後児童クラブ運営での要望事項の反映は。

化課長文 備品の要望や施設の拡充などの要望が上がっている。施設ごとに意見要望を取り入れて、充実した活動としたい。

意見 運営者と連携を図り事業を進めるように。

問 川西町交流館あいばる（旧2中）の利用状況はどのようなになっているか。

化課長文 現在は川西町観光交流協会の事務所があり、運営担当も配置している。運動

施設の利用率は高いが、宿泊施設はシーズンにより利用率は大きく変動する。特に冬場の利用は極端に少ない。多くの方の利用を推進したい。

意見 施設の利用状況を的確に調査し、利用率向上に結び付く対策を図るべき。

問 本町における不登校児童生徒の現状は。

化課長文 若干名いる。状況に応じて対応している。

意見 十分なサポートを取るように。

問 町債償還元金額により、今後の起債には影響がないのか。

企課長財 実質公債費比率を超えない範囲を注視して取り組んでいる。

意見 公費償還額により借入制限が適用される。今後の起債発行に対しては、制限の適用がなされない財政運営を行うこと。



放課後児童クラブで楽しく = 小松小

3町連携事業の実績は

問 ふるさとづくり基金管理は

商課長観 一昨年を上回る納税寄付額である。

意見 効果的なPRと返礼品目の拡充を図りながら、継続して寄付受入額の増額に努めるように。

問 空き家対策事業は

住課長民 川西町空き家除却推進事業補助金について、空き家除却を後押しするための

補助金である。

意見 国県に対し支援の拡充を要望するとともに、補助金額を増額し除却しやすい環境を整備するように。

問 環境施策推進事業は

住課長民 小学生親子を対象にした環境教室の実施は、地球温暖化の防止に向けて子どもたちが環境問題に関心を持ってもらうための事業である。

意見 地球温暖化防止対策を推進するため、環境教室などの環境教育事業を継続して実施するように。

問 鳥獣被害防止対策事業は

農課長林 鳥獣被害防止に関する取り組みである。

意見 川西町鳥獣被害対策実施隊員の報酬について、近隣自治体との均衡を図るように。

問 有機農業推進事業は

農課長林 有機農業推進に関する取り組み状況について、かわにし有機農業推進協議会への負担金である。

意見 有機農業実践者の拡充に向け、取組実績に関する情報発信や本町産有機農産物のPRの充実を図る。

問 3町連携推進事業は

商課長観 本町および西川町、大石田町が連携し、観光誘客や経済消費の拡大に取り組んだ。

意見 より一層3町の連携を深めながら、効果的な事業推進に努めるように。

問 交通安全施設整備事業は

住課長民 道路区画線整備は、通学路点検で確認した箇所や幹線

道路などを優先して行っている。

意見 現地の状況を確認しながら対応するように。

問 包括的支援事業・任意事業は

福課長社 配食サービス事業について、利用者には微増しているが支障なく業務が執行されている。

意見 令和8年度から、委託先が別事業所となる利用者に影響が出ないよう対応すること。



交通安全・死亡事故ゼロは7年になる。8月20日現在 = 南陽川西線交差点

正算
補予

置賜農高の魅力アップを推進
※財政調整基金積立大幅増

令和8年度一般会計補正予算は、第3号（専決処分、P10参照）・第5号は7月26日の大雨洪水対策費である。

第4号は、置賜農業高等学校連携

推進事業、地域経済循環創造事業、地域農業構造転換支援事業、小学校教育コンピュータ管理事業、決算で生じた剰余金を財政調整基金に積み立てるなどの補正予算である。

主な質疑

問 置賜農業高等学校連携推進事業とは

企画財政課長 置賜農高のさらなる魅力向上のため、推進計画策定を地域力創造アドバイザーに委託するもの。

政策推進課長 地域にある人材・企業・行政を結びつけ、地域課題を学習や進路、地域活動に生かし学校の魅力化や生徒募集の支援などの活動を行うもので、総務省の指定のアドバイザーに策定を委託するもの。

●（株）銘菓の錦屋

事業名…歴史的建造物を核とした観光アクティビティ拠点整備による交流人口創出事業内容…錦屋本店の屋根と2階を修繕・整備し、観光アクティビティ（活動）拠点とするなど。

問 地域経済循環創造事業の内容は

意見 学校の魅力アップを図り、県外入学者制度などを実施して生徒数を増やす体制を強化すること。

※財政調整基金 地方自治体が将来の財源不足や災害に備えて蓄える「貯金」のこと



多様な取り組みで魅力アップを＝置賜農高オープンスクール鉢植え実習

令和8年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第3号)	専決処分※P10参照	
一般会計(第4号)	6億9215万円追加補正 130億7700万円	全員賛成により可決
一般会計(第5号)	3億9200万円追加補正 134億6900万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業(第1号)	8352万円追加補正 17億5752万円	全員賛成により可決
介護保険事業(第2号)	7031万円追加補正 20億508万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療(第1号)	1907万円追加補正 2億9125万円	全員賛成により可決
水道会計 収益的支出(第2号)	3298万円追加補正 4億7248万円	全員賛成により可決
下水道会計 収益的支出(第2号)	373万円追加補正 3億5806万円	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第4号)の主な内容

(歳出)	
置賜農業高等学校連携推進事業 地域力創造アドバイザー業務委託	610万円
地域経済循環創造事業 施設整備等補助金	2530万円
財政調整基金積立金	2億8662万円
町債管理基金積立金	1億140万円
町債償還元金	1億9992万円
町債償還利子	1173万円
(歳入)	
地方交付税	4億4033万円
国庫支出金	1890万円
県支出金	2381万円
前年度繰越金	2億6088万円



補助額…420万円

●（株）TEKO

事業名…川西まちなか事業創出基盤整備事業内容…飲食拠点（焼肉店）整備（旧長崎屋空き店舗利用）ほか、事業成長コミュニティ形成事業、産業高校生ビジネスコンサルタント事業を展開する。

補助額…2110万円

意見 当該補助制度の周知に当たっては、機会均等の観点から、広く公平な周知を徹底するように。

問 小学校教育コンピュータ管理事業の内容は

教育総務課長 小学校に配備されている電子黒板の修理費および購入費である。電子黒板は写真・動画・音声を使って授業を進めるデジタル設備で、接続、移動などで接続端子の不具合が発生しやすい。修

次は専決処分

理と購入費用である。高額なものであり、事業の継続性、計画性を踏まえて進めるように。

補正予算第5号

最終日に追加議案として一般会計補正予算第5号が提案された。7月26日の大雨の主な被害は、

- ・建物被害15件
- ・農作物被害5・39ヘクタール
- ・道路9カ所
- ・河川4カ所
- ・観光施設1カ所
- ・農業関係87カ所
- ・林道8路線37カ所
- ・教育施設1カ所などである。

水防団の出動は34カ所、188人の出動、避難者は6人であった。この対応のため、3億9200万円の追加補正となった。被害の詳細い内容はP10参照。

決 分 専 処

7月26日大雨に 迅速な対応 「一般会計補正予算(第3号)」

7月26日(日)大雨の影響により、早朝から大雨危険警報、土砂災害危険警報が次々と発表。警戒レベル4、避難指示が9時20分、全域に発令された。そ

の後、雨の勢いが収まり、11時55分、警戒レベル4、避難指示の解除および、避難所を閉鎖した。午後再び大雨警報、土砂災害危険警報が発表、16時35分

に2度目の警戒レベル4、避難指示が全域に発令。18時22分警戒レベル4、避難指示を解除し、19時30分大雨警報から大雨注意報に変わった。

各地区避難所の状況

19時に犬川地区交流センター以外の6地区避難所を閉鎖。20時15分、犬川地区交流センターの避難所を閉鎖。避難所利用者数(犬川3人、玉庭1人、東沢2人、その他の地区0人)

契 約

請 願

万福寺川築堤工事2
工区請負契約の締結

県立置賜農業高等学校
寄宿舎に関する請願

《請負金額》
1億1275万円
《受注者》
株式会社 藤島建設

請願者 土田 和夫
紹介議員 寒河江 司
高橋 輝行
鈴木 孝之

《工期》
令和9年3月31日
《内容》
令和4年度の災害を受けて、最上川からのバックウォーター対策として築堤工事がなされることになった。

平成23年3月で閉寮となった、置賜農高の学生寮の建物がそのままでの状態となっている。老朽化による危険など懸念の声が聞かれることから、県に対し働きかけるよう請願する。

排水構造物工、BO
Xカルバート工、水尻
工、集水榭工、営渠工、
川裏榭工、翼壁工以上の
工種である。

①当該施設を速やかに
解体すること。
②解体するまでの間、
当該建物の管理を万全
にすること。

令和8年度 川西町一般会計補正予算(第3号)		
(歳出)		
性質別区分	補正額	主な内容
人件費	113万円	消防団事務管理経費等
物件費	204万円	排水ポンプ作業委託料等
災害復旧事業費	1億30万円	公共土木施設災害復旧事業
合計	1億347万円	

(歳入)		
歳入項目区分	補正額	主な内容
繰入金	327万円	財政調整基金繰入金
町債	1億20万円	公共土木施設災害復旧事業債
合計	1億347万円	

主な被害状況		
(1) 建物被害		
【住家被害】	床上浸水 1件(中郡)	
	床下浸水 2件(中郡、玉庭)	
【非住家被害】	浸水 12件(犬川2、中郡5、東沢5)	
(2) 農作物等		
【農作物】	計5.39ha 被害額160万円	
作物名	被害面積(ha)	被害額(千円)
大豆	5.10	98
水稻	0.17	19
ぶどう	0.12	43
計	5.39	160
(3) 土砂災害(災害箇所確認終了。現在精査中)		
(4) 道路 被害額 3,443万円		
【町道】①上六角平谷地線		
	(溢水被害、片側交互通行継続中)	他8力所
(5) 河川 被害額 2億2,850万円		
①山口沢川 (ブロック流出、側溝土砂堆積、路面流出)		他3力所
(6) 観光施設 被害額 247万円		
①置賜公園	ダリヤ園管理棟南側水路の土砂堆積	
(7) 農業関係	【農地、農業用施設】 計87力所	
	被害額 1億1,820万円	
(8) 林道関係	被害額 337万円	
(9) 教育施設関連	被害額 33万円	

人 事

教育委員と 人権擁護委 員を同意

全 員 協議会

教育委員会委員の任命に同意

9/14 全員協議会

指定管理を 選定

川崎幸氏が令和8年9月30日付けで任期満了のため提案され、同意した。

公募によらない
指定管理者を選定

の増進、健全なスポーツ・レクリエーションの振興、地域間および世代間交流の促進に寄与している。3施設の活用による、一層の交流人口の拡大に期待。公募によらず選定した。



●松岡希衣子さん
(新任) (大塚)
(略歴)
・大塚小学校PTA副会長 (令和2年度、令和4年度)
・大塚地区社会を明るくする協議会理事 (令和5年度、現在)

対象施設
・川西町浴浴センター
・川西ダリヤパークゴルフ場
・川西町営小松スキー場ロッジ

7月26日大雨による被害状況報告
24時間積算降水量は、161.0mm。
【住家被害】床上浸水1件(中郡)床下浸水2件(中郡、玉庭)の被害について説明があった。

人権擁護委員の推薦に2人を同意

指定管理者
株式会社ダリヤパークサービス

選定理由
3施設については、利用者ニーズへの柔軟な対応、サービスや利便性の向上に努めながら、町民の健康と福祉

●小方恵美子さん
(新任) (東沢)
全員賛成により同意

●滝田 浩一氏
(新任) (小松)
全員賛成により同意

広報モニターから ひとこと⑥ 玉庭 加藤万里子 さん



忙しいながらも
送迎が嬉しい時間
私が川西町に引越してきて十年が経った。住まいがある玉庭地区は車がないとどこへも行けず、慣れない雪道の運転もやるしかなかった。小・中学生はスクールバスがあるので登下校にさほど問題

はなかったが、子どもが別々の高校に通っていた時は迎えの時間が近づくと同じ時間に駅に着いてくれと祈る。送迎する側も大変だが子どもたちも不便を感じている。送迎してもらわないと友だちと遊びに行けないのだから。家から公共交通機関を利用して目的地まで行けたらどんなに楽だろうとお互い思っているはずだ。

まちなか再生への施策と展開は

町長 ー 町内回遊の仕組を構築

渡部 川西まちなかテラス（まちなか）は多世代が交流する地域コミュニティの核であり、中心市街地活性化の拠点として大きく期待されている。テラスを起点として小松地区全体の回遊性を高め、にぎわいをどう生み出すのか。テラスを核とした「まちなか再生」への施策と展開は。

町長 川西まちなかテラス（まちなか）は令和8年5月のオープン以降8月末で1万2千人を超える利用者があった。まちなかを活用した事業として、パブリックビューイン

グの実施をはじめ、こまつ市、子ども食堂などにより、にぎわい創出を図っている。日常では、小中学生の集いの場、中高生の勉強の場、近隣自治会の打ち合わせやサークル活動などに利用されており、着実な一歩を踏み出しているものと考えている。また、10月には文房具のイベント「かわぶんフェス」を開催しフレンドリープラザでの「一箱古本市」とも連動し、まちなかを拠点に町内を回遊する仕組みを構築した。今後、まちなかの積極的なPRとイベント等を展開し、中心市街地活

性化に取り組んでいく。**渡部** まちなか周辺地域は空き家などが増加しており、ほとんど草や木が伸び放題である。そのため景観が悪くなっている。しかし、小松地区では自治会員の高齢化に伴い、これまで住民が主体となってきた環境美化活動や共同作業が困難になっていると聞く。行政の支援が必要なのは。

町長 町では小松地区交流センターをはじめ各地区センターの活動に対して、まちなかづくり推進交付金を交付している。今後も継続した支援を図る。

渡部秀一 議員



好評の「まちなか」利用者でにぎわう

渡部 県が公表した「新たな箇所」を踏まえ、ハザードマップへの反映や情報提供をどう進めるのか。

町長 県の基礎調査を踏まえその結果はハザードマップへ反映させる。令和9年初旬を目途に配布したい。

また更新したハザードマップの配布時期はいつか。

町政を問う



4人の議員がするどく一般質問

※ 定例会第2日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。（発言順）に掲載します。

P13	渡部 秀一 議員	① 中心市街地活性化 ② 小松地区の環境美化 ③ 災害に強いまちづくり
P14	吉村 徹 議員	① 7月26日の大雨による被害 ② 物価高騰対策
P15	橋本 欣一 議員	① 災害時の避難所整備状況と二次被害防止対策 ② 地域公共交通の在り方
P16	高橋 輝行 議員	① 副町長の人事 ② 文化財の保護・活用 ③ 内山沢一帯の治水対策 ④ 川西町立幼児施設等の再編計画

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るができます。（<https://www.town.kawanishi.yamagata.jp>）
④ 抜きの数字は掲載された質問。

まちなかの未来が見える（9月定例会の傍聴者はありませんでした。）
議会傍聴においでください
次回定例会は12月です

どなたでも傍聴できます
（事前連絡は不要です
役場3階においでください）
定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB
QRコード



川西町議会HP
QRコード

一般質問

大雨被害

実効性のある防災・減災対策の構築は

町長ー災害に強いまちづくりを進める



吉村 徹 議員

吉村 7月26日の大雨による被害状況は。

町長 住宅被害として床上浸水1件、床下浸水2件、非住家浸水12件が確認されている。その他町道、農地、農業用施設などの内容について精査中である。

町長 災害発生時ににおいて最優先することは、町民の生命を守り、安全を確保することであり、適切な情報を発信し、迅速な避難誘導を図ることである。

吉村 近年の豪雨災害により、同じ箇所が繰り返し被害を受けており、原因となる構造的課題を解消するための「改良復旧」を行うべきではないか。

町長 改良復旧事業に箇所ではないところも含めて実施するため、国や県との協議が必要となることや災害査定の対象とならないことも考えられることから、

吉村 繰り返し被災する箇所については、重点対策箇所として位置づけ、計画的な復旧を行っていくべきではないか。

町長 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しながら、地域経済の下支えに取り組んでおり、町民の暮らしを守るよう取り組んでいく。



町道上六角平谷地線(ダリヤ園)復旧工事

避難所

避難所のエアコン設置は

町長ー十分とは認識していない

橋本 避難所の熱中症対策は。

町長 エアコン整備率は27%である。

橋本 真夏の避難所のエアコンの設置が必要となっているが、本町の整備状況は。

町長 町内の指定避難所は11カ所あり、エアコンが整備されているのは、町民総合体育館、農改センター、交流館の3カ所であり、小中学校の体育館は未整備である。対策としてスポットクーラー、大型扇風機で対応している。これらで十分とは認識していない。

橋本 体育館は教育施設でもあり、ス

ポーツなどでも必要といわれているが、整備の考えは。

町長 従来から要望があるのは認識しており、検討したい。

橋本 災害時の断水でトイレ、衛生管理体制が重要といわれているが整備状況は。

町長 町内にマンホールトイレを8基(役場敷地5基、まちなかテラス3基)整備している。また携帯トイレは587セット備蓄している。女性生理用品は約5000枚備蓄している。

橋本 プライバシーやベッドの配慮も

必要といわれるがどうか。

町長 段ボールベッド74セット、簡易ベッド10台、段ボール間仕切り84セットを準備している。そのほとんどが交流館に1カ所配備しており、今後は各避難所への分散備蓄を進める。

橋本 日本はいつまでもたっても避難所での雑魚寝のままである。世界では避難所の基準としてスフィア基準というのがあり、TKB48(トイレ・キッチン・ベッド48時間以内)にそえる体制がある。参考にすべきである。

デマンドの利用時間の延長は

橋本 医療機関でのデマンド利用者が、診療・治療の混雑や会計処方箋の待ち時間で午後4時を過ぎると利用できなくなるが、帰り足として利用時間の延長はできないのか。

町長 住民ニーズや高齢化などの社会構造の変化を的確に捉え、デマンド型交通を支える労働力や費用対効果を検証し、町民の利便性向上につながる対策に努める。

その他質問 米坂線の復旧、ライドシェアの導入などについて質問した。



まちりあに整備されたマンホールトイレ

一般質問

人事

副町長不在の認識は

町長 ー 機が熟した段階で提案



高橋輝行 議員

高橋 副町長不在の空白状態について、5月末の前任者の退任以来、3カ月が経過したが、副町長の役割として○町長のサポート○職員の管理○町の代表・代行○職務の代理の4つがある。その職責を町長1人が背負い、また職員が代わりに担っている現状は、健全な行政運営を執行する組織体として疑問を抱いている。そして多

くの町民からも不安の声がある。副町長不在の現状をどう認識しどう対応するのかお尋ねしたい。



町長 現在、各種委員会では、所管課長が対応している状況であり、私自身が幹部職員と直接連携を図り、業務遂行に万全を期している。機が熟した段階で議会へ提案し同意をいただきたいと考えている。

文化財対策は

高橋 文化財の保護・活用について「下小松古墳群」や「小松豊年獅子踊」「天神森古墳」「牛谷家の門」などが町民の方にはなじみがあるのではない



か。我が家の近くにも「黒川のツクシガヤ自生地」が存在している。そこで、町内文化財の保護、継承に対する支援について、財政的な面も含めて考えをお聞きたい。



高橋 時代の変化に伴い運営面や経費面で課題があることは認識している。補助金や委託料を予算化し経営面での支援を行っている。今後も教育文化課が窓口となり、助言等に努めていく。

内山沢治水は



高橋 基礎調査の報告は①新八堤の堤防嵩上げ②新たな堤設置③公園下の水路整備④新たな放流水路整備が示され検討している。

幼児施設の方性は



高橋 民間活力の導入のままに、小松保育所と美郷幼稚園の閉園を令和11年3月とする方向性は変わらない。



国史跡 下小松古墳群の案内板

委員会レポート

令和8年27日から28日、広聴広報に関する先進地調査を行った。

広報全国研修会

調査内容は、全国町村議長会主催の広報全国研修会での各種講義への参加による技術講習と、広報づくりに全国的に著名な活躍をされている芳野政明氏の講義を受講した。

フター 効果的なテクニック術」の講義があった。

最後に橋本委員長「読まれる議会だよりを目指して」のタイトルで講義があった。かわにし議会だよりの編集方法とアドバイザー、モニター制度などを紹介し、会場からは大変

広報全国研修会に参加・橋本委員長講演
芳野政明氏（広報コンサルタント）の研修も
広聴広報常任委員会



全国研修会に参加



講演を行う橋本委員長



芳野氏の講義を受講

本町広聴広報常任委員長橋本欣一委員長の講義を含む3人の講師による研修であった。全国から900人の参加があった。

「住民と議会をつなぐ広報デザイン術」議会広報紙のビフォーア

「町民の皆様に見える化&住民との関係性」をテーマに講義を受けた。

本町の基幹産業である農業をさらに振興するため、本町にある伝統ある置賜農高校が、今後も生徒の進路として選択され続け、農業の未来を担う人材を育成していく必要がある。この目的のため置賜農業高等学校連携推進事業の説明があった。

公立幼児施設等の再編計画に伴う今後の課題の説明があった。はじめに、少子化の進行で、公立の幼児施設の利用者数は減少傾向で、適正なクラス人数が確保できない。次に、施設の老朽化、維持管理費と運営経費の削減と効率化の検討が必要。

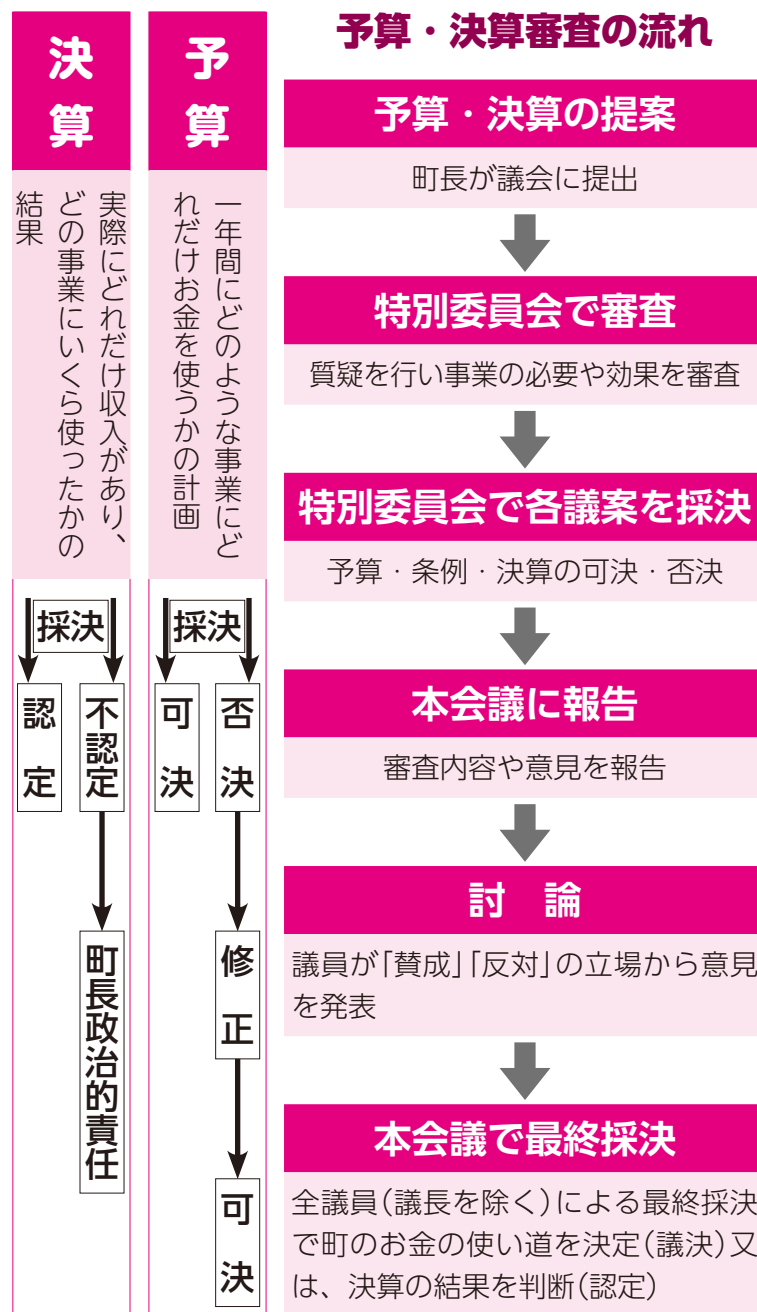
次は今年度注目事業

連載予定

- ①「私たちの声が届く場所 議会のキホン」
- ②「徹底解析！ 委員会って何してるの？」
- ③「予算と決算、 どうやって決まるの？」
- ④「議会傍聴のススメ&議員と話してみよう！」

第3回目

予算と決算 どうやって決まるの？



町の予算と決算は、町の暮らしを支える大切なお金の計画と結果である。

予算は一年間にどのような事業に、どれだけお金を使うかを定める計画である。

これに対して決算は、

実際にどれだけ収入があり、どの事業にいくら使ったかをまとめた結果である。

町では、道路や公園の整備、子育て支援、高齢者福祉、ごみ処理、防災など、さまざまな仕事に税金が使われる。

自治体の予算資料では、一般会計のほか、特別会計や公営企業会計（上下水道会計、集落排水事業）に分けて示される。

予算を見ると、町がその年に何を重視しているかが分かる。決算

を見ると、その計画が実際にどう進んだかが分かる。つまり、予算は町のこれからを示し、決算は町の一年を振り返る資料である。広報紙などでも、歳入と歳出を図や表でわかりやすく示している。

町の予算は一年の計画・決算はその結果

斬新なアイデアで地域づくり



校内選考会でのプレゼン

日 時：11月15日(土)
「かわにし商工まつり 2026にて」

会 場：川西まちなかテラス「まちりあ」

目 的：若者の斬新なアイデアの創出と地域課題解決への実践

対 象・発表者：川西中学校3年生

テーマ：「まちりあでの賑わいづくり」

町では、第6次総合計画において「女性・若者活躍のまち」を目指し、若い世代が地域づくりに主体的に関わることが出来る機会の創出を進めている。

その一環として令和8年度「中高生みらいづくり会議」を開催、11月15日に川西まちなかテラス「まちりあ」

にて、地域づくりのプレゼンテーションを開催する。

過去には平成16年から18年にかけて「中学生模擬議会」を開催し、町に提言した実績がある。

今年の対象は川西中学校3年生の皆さん。

「まちりあ」での「にぎわいづくり」をテーマに、中学生ならではのマに、中学生ならではの柔軟で斬新な視点から、地域課題の解決や魅力向上に向けたアイデアを発表の予定だ。

生徒たちが真剣に考えた提案を実際の地域課題解決へとつなげ、笑顔とにぎわいがあふれる川西町の未来をともに創っていく姿を、議会も大いに期待する。

中高生みらいづくり会議

今年度注目事業



平成27年開催の女性議会

「女性活躍推進」イベント企画

すべての人が活き活きと暮らし、能力を発揮できる町を目指し、女性活躍をテーマにしたイベントをたぐいまる企画・準備中の報告があった。

誰もが気軽に立ち寄れる参加型イベントを予定している。

詳細な日程や内容が決まり次第、広報紙や町公式HPなどでお知らせする。

皆様のご参加を期待している。

今年の秋は、雨の日が多く、心配された天気も久しぶりの好天に恵まれ、10月3日に美郷幼稚園の運動会が開催されました。年少さん3人の胸には、頑張ったご褒美のメダルが燦然と輝いています。TVでは、連日アジア大会で活躍する日本選手が紹介されています。夢はでっかくオリンピック。メダル獲得を目指して欲しい。頑張れ川西の子どもたち。

金メダル



表紙の写真

こんな質問・要望がありました(主なものを抜粋)

地区名	月 日	会 場	参加者	議 員 (先頭が班長)
小松	8月18日	地区交流センター(まちりあ)	13人	遠藤明子、高橋輝行、伊藤 進、吉村 徹、寒河江司、鈴木孝之
中郡	8月18日	地区交流センター	8人	鈴木幸廣、橋本欣一、神村建二、渡部秀一、寒河江寿樹、舩山千鶴
大塚	8月19日	地区交流センター	6人	遠藤明子、高橋輝行、伊藤 進、吉村 徹、寒河江司、鈴木孝之

質疑・要望・意見など	質疑への回答・今後の対応など所管課
1、中心市街地及びメディカルタウンを核とした賑わいづくりについて ○中心市街地とメディカルタウンのつながりがよくわからない。 ○メディカルタウンの人口はどのくらい増えたのか。経済効果の算出方法・定住人口の計画根拠について調べて報告してほしい。 ○大塚地区内に水害時の避難所がないため、公共区域内に公的な避難場所を建設できないか。 ○メディカルタウンという一部の地域のみが集中的に発展し、中郡、吉島や大塚など周辺の地域が取り残されて衰退(空洞化)する懸念がある。メディカルタウン単体での発展を目指すのではなく、その機能を周辺地域へ分散させ、地域同士を融合・連携させて持続できるようにすべきではないか。	●小松地区のまちりあ、大塚地区のメディカルタウンを中心とした2つの賑わいの拠点をどうつなげていくかが課題となっている。 ●期待をし、後押しをしていく。また、米沢に住んでいる人が米沢八幡原の会社に通勤するのに、道路事情が良いため、わざわざ大塚に家を建てた事例もある。 ●北側区域17世帯で50人。期待される効果として、定住人口250～350人、経済効果10年で約55億円となっているが、商業施設や住宅等の建築費、雇用創出による所得の増加、定住人口の増加による消費支出の増加等が主な内容である。 ●持ち帰り回答 【政策推進課】 大塚地区の避難所確保は、住民の安全に関わる重要課題と認識している。公共区域の活用にあたっては、有事の避難機能のみならず、平時における利活用も含めた多角的な視点から検討を進めていく。 ●川西町中心市街地まちづくり計画における4つの丘の話をし納得を得た。 また、中郡と吉島の活性化についても町当局に伝えていく。
2、空き家対策について ○小松地区として毎年空き家対策の要望を出している。解体の方策、どのような手法があるか教えてほしい。町で実施した解体費用は、所有者から徴収したのか。今後、空き家が増えると思うので、そういうものを活かして集合住宅を作るなど人口を維持してほしい。 ○相続放棄した空き家の解体は町が主体的に行うのか。所有者が所得状況等により返還できないと判断した場合、町が単独で解体できるのか。 ○空き家の撤去費用の補助額では撤去が進まないのでは。 ○空き家バンクの登録情報について、地域の不動産業者にも情報提供を行っているか。 ○かつて空き家だった場所が購入されて住んでいる方がいる。空き屋物件を求める方が増える可能性もあると思うので、内容を分析して、町当局で何か把握していることや担当部署がどこなのか教えてほしい。 ○思い切った事業に取り組めないか。移住・定住につながるし、かけづくりがないか。空き家バンクはわかるが、古い住宅は損傷が進むのが早い。2～5年経てば住める物件でも住めなくなる。	●解体するには町の補助金を活用頂きたい。行政代執行(所有者確認)と略式代執行(所有者不明)があり、行政代執行2件分は回収した。 ●相続放棄案件は所有者がいないので、略式代執行になる。 ●財政的に厳しいが、空き家解体のきっかけとなる補助金である。 ●持ち帰り回答 【住民課】 空き家バンクの登録情報については、町のホームページに掲載し情報発信を行っているが、地域の不動産業者への直接の情報提供は行っていない。なお、空き家バンクの登録にあたっては、山形県宅地建物取引業協会南陽に物件の調査を委託しており、空き家バンク登録後は調査を行った事業者が物件の仲介を行っている。 ●担当部署は住民課で対応している。移住・定住対応については川西町観光交流協会が担っている。町のホームページで空き家情報を発信している。 ●持ち帰り回答 【商工観光課】 移住定住希望者から相談があった際には、空き家バンクの紹介をはじめ、住まいや移住に対する各種支援についてご案内している。 ●町のホームページを見て移住した方がいる。やはり、空き家になるとわかってから2～3年と時間が経過すると損傷が激しく利用価値が低下する。
3、その他 ○7月議会だよりに水道料金値上げの記事が掲載されていた。付帯決議についてはそのとおりだと思う。農業集落排水の老朽化が心配だが、(農水省管轄)延命策をどのように進めるかが大事である。財政が厳しいことを考慮して検討してほしい。施設利用料金改定に係る条例改正は理解したが、分かりやすく内容を記載してほしい。 ○恩送りポイントの内容について	●条例についてはそのとおりであり、町当局と一緒に勉強しながら対応していきたい。老朽化についても同様である。貴重なご意見として承った。 ●この意見交換会については、受付で住所と氏名を記入いただければ200ポイントが2日～1週間後に付与される。使用期限は今年度中である。今年度の予算は100万円で、対象事業は配布している資料に記載のとおりであり、詳細は事業ごとにお知らせすることとなっている。

(各地区交流センターを会場に)



R287バイパスの要望も = 中郡地区



中心市街地活性化が中心に = 小松地区



メディカルタウンの今後に期待 = 大塚地区

町民との意見交換会が8月18日・19日の両日、「中心市街地およびメディカルタウンを核とした賑わいづくり」「空き家対策」をテーマに11回目となる町民との意見交換会が開催された。
今回は小松、大塚、中郡の3地区で行われた。

意見交換会は、議会基本条例で定めている最重要項目の一つである。
議員は議員活動の中で、地域の課題や個人の相談などの解決に向けて努力をしている。しかし、大きな地域課題や政策的な事項に関しては議会として取り組んだほうが解決できる

場合が往々にしてある。本町議会では、意見交換会で出された内容をまとめ、町に対し政策提言をしている。提言を一方通行としないところは、知る限り全国唯一である。
直近の課題で意見交換

「まちりあ」を核として、交流および賑わいの創出を一層推進するとともに、羽前小松駅前における総合的な開発ビジョンを明示し、駅舎、まちりあ、新診療所、商店街を有機的に結ぶ人の流れが求められた。

による管理不全が地域の安全や景観に深刻な影響を及ぼしている。空き家の予防、利活用および除却を一体とした対策を求められた。ご協力いただいた地区交流センターと参加者の皆さん、関係者に感謝したい。

『政策提言』手交へのご案内

第13回目の政策提言書の提出・手交式に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

と き 10月30日(金) 9:30～
ところ 川西町議会議場

意見交換会

3会場で開催

中心市街地活性化・空き家などで意見

あれから…… どうなった！



アスパラガス・えだまめ・ダリア 園芸作物で地域ブランド確立 3大園芸品目重点推進を継続

平成元年12月定例会において、平成29年3月に出された「川西町農業振興マスタープラン」で、水田フル活用による農業所得向上大分類3園芸作物（1）

産地化で示されていた「川西の定番」確立、高収益作物として3大園芸品目が示されていた。状況確認を含めた一般質問があり、その結

果3品目すべてが置賜トップであるとの答弁を得ていた。その後、農業状況や生産者状況が変化している中、どのように進んでいるのかを調査

【アスパラガス】	生産者数(人) ※部会員数	面積(a)	販売金額 (千円)
令和元年度	65	1,820	69,712
令和2年度	61	1,820	52,158
令和3年度	59	1,739	43,130
令和4年度	62	1,746	45,117
令和5年度	58	1,569	37,413
令和6年度	58	1,569	40,456
令和7年度	47	1,370	29,322

【えだまめ】	生産者数(人) ※部会員数	面積(a)	販売金額 (千円)
令和元年度	65	3,920	62,909
令和2年度	72	5,400	92,440
令和3年度	68	6,937	93,490
令和4年度	60	7,800	62,009
令和5年度	58	6,051	83,605
令和6年度	58	6,051	88,711
令和7年度	50	5,900	85,600

【ダリア】	生産者数(人) ※部会員数	面積(a)	販売金額 (千円)
令和元年度	25	525	44,920
令和2年度	27	490	36,824
令和3年度	26	490	48,227
令和4年度	22	470	39,263
令和5年度	22	470	62,134
令和6年度	22	470	58,534
令和7年度	17	356	46,045

(JA作成主要園芸作物振興実績より)



えだまめ選別作業 = 大塚園芸ステーション

した。

地域ブランド確立を

収益性の高い3大園芸品目として「重点推進品目」としては継続されているものの、農業人口減少をなぞるように現状では生産者も減少しているが、農業経営所得安定対策等として取り組まれており、土地利用型作物となる「えだまめ」などは面積が高止まりになっている。

また、ダリアの切り花は需要が多いといわれ、拡大に向けた取り

組みが求められている。畑作業は手作業が多く、個人集積、単位面積として水稲プラスの複合化ができにくくなっているが、高収益が見込める作物であるので、取り組みにあっては、町などD*AYワークとして作業人員確保対象にもなる「川西町の定番」とし、継続した取り組みが、ブランド確立につながり、農業所得の向上に結びつくものにしていかなければならない。

いいね！かわにし 街かどインタビュー

小松地区敬老祝賀会が9月12日(土)
川西まちなかテラス「まちりあ」で開催され、インタビューした。



廣野 フサさん(小松)
白寿を迎えました。書道教室を現役で行うことや子どもたちと関わるのが元気の源です。「まちりあ」に来ることをワクワクと心待ちにしていました。今後は、町中を巡回できるような交通手段をお願いしたいです。



小松 光雄さん(小松)
散歩で、楽しみながら、ご近所さんと話をするのが日課でした。足が不自由になってからはめっきり出ることがなくなりましたので、今日の敬老会はとても楽しみにしています。



小松 高橋 勲夫さん(小松)
パソコンでインターネットを見るのが好き。また、ものづくりに趣味の一つ。今は、皮工作で下駄を作っています。指先を使ってボケ防止。米寿を迎え健康の秘訣は、無理をしないこと。地域の人と交流し合うことです。



小松 吉田 良子さん(小松)
100才体操で体を動かし、その後のおしゃべりすることが健康でいる秘訣。私も米寿の歳となり、花壇づくりや外仕事が好きでしたが、あまり外出しなくなり今は家で折り紙などの作業をしています。



小松 小松地区ボランテアの会(小松)
いろいろなイベントや行事に参加して、裏方として協力しています。今日の敬老会にも多くの仲間が協力してくれました。一緒に楽しみたいと思います。会も若い方の加入が減ってきて協力できることも以前のようにいきませんが、楽しみながら協力していきたいと思っています。



小松 吉田 良子さん(小松)
初めて地区敬老会に参加し、アトラクションは楽しく拝見しました。私たちは「ひょうたん愛好会」グループ活動を行っていて、作品作りや展示会などを行っています。和気あいあいとした活動です。興味のある方はお声掛けください。(恵子)



中川 詩音さん(中郡 中川 詩音さん(天川) 高校2年)
希望して今日の販売のボランティアに参加しました。自分たちが栽培した作り出したダリアの切り花やジュースを地域のみなさんと触れ合いながら販売するのはとても楽しみです。素敵な笑顔にあえて、楽しいし、いい経験になり、自信がつきます。地元の高校が大好きです。



小松 吉田 良子さん(小松)
私たちが育てたダリアの花や加工品などの商品を販売しています。ボランティア活動に積極的に参加し、地域の方とおしゃべりすることがとても楽しいです。地元の高校に入って、先輩方も優しく接してくれ、自然と触れ合い充実した学校生活です。

みなさんからいただいた要望については、今後の議会活動に生かします。

新たな土地でスタート

出会いに感謝

中郡地区にお住いの
文倉多英子さんに移住
されたきっかけや子育て
についてお聞きしま
した。

◇ プロフィール ◇

ふみくら た え こ
文倉多英子さん

川西町大字下奥田
家族構成 夫と子ども2
人

出身地 埼玉県
趣味 かぎ針編み

川西町に住みたくて

主人が幼い頃、母と
一緒に訪れた母の生家
が中郡地区にあり、懐
かしい記憶と情景が心
に残っていたらしく、
住むなら絶対にこの地
と決めていたことが一
番のきっかけです。主
人曰く、「移住ではな
く、故郷に帰ってきた
感覚」だそうです。

移住が決まるまで、
大変だったことは？

私たちは、川越市で
6年間暮らし、2人の
子どもに恵まれました。
移住すると決めてから
は、ネット検索を行い
情報収集したり、川西
町の空き家バンクに相
談したり、何度か川西
町を訪ねたりして準備
をしてきました。長男

が小学校入学、次男は
年少児に上がる歳に合
せて移住しました。

環境面で思うこと
は？

夫婦の仕事が決まる
までは不安でした。後
押しする支援体制があ
れば助かると思います。
運よく夫婦とも町内に
就職できました。地域
の皆さんは大変良く接
してくれます。

川西町の印象は？

「なんでここに」「な
んで」とよく聞かれま
す。地元の方は地域の
良さが分からないので



元気いっぱい にぎやか家族

しょうか。美しい自然
景色、山も川も素晴ら
しい。自慢してほしい
です。私も主人も、地
域で生活してほっとす
るとともに来て良かつ
たと思います。

子育てで思うこと
は？

子どもたちは環境に
馴染むのも早く、すぐ
に新しい友達もできた
ようで、笑顔も見え、
このまま明るく健康に
育ってほしいです。

いただいた要望は町
に提言していきます。

編集の後で

▼議会日程が短縮され
たが、編集日程は変わ
らない▼簡潔明瞭に努
めながらの編集作業
は、委員一人ひとりが
集中力を発揮し、能力
を駆使して行っている
▼毎回内容を確認し、
専門的用語を分かりや
すく、間違えないよう
に表現することの難し
さを実感▼より読ん
でもらえ、分りやすい、
議会広報を目指し、編
集に取り組んでいき
たいと思う。

(すすむ)

発行責任者 鈴木 幸廣
委員長 橋本 欣一
副委員長 鈴木 孝之
委員 伊藤 進
同 遠藤 明子
同 寒河江 寿樹
同 船山 千鶴
アドバイザー(文章) 佐々木 賢一
アドバイザー(写真) 鈴木 浩之
山田 順一
齋藤 文夫